

核医学検査の手引き

ドパミントランスポーターシンチグラフィ

検査を受けるにあたって

【ドパミントランスポーターシンチグラフィ】 検査を受ける際の注意事項

- 検査の予約日時を守ってください。
- 検査前の制限は特にありません。
- 妊娠中・授乳中の方はお申し出ください。
- アルコールに過敏な方、その他過敏症の既往歴のある方はお申し出ください。
- 何らかの治療薬を服用中の方はお申し出ください。

氏 名:

予 約 日 時: _____ 月 _____ 日 _____ 午前・午後 _____ 時 _____ 分

撮影開始時刻: _____ 午後 _____ 時 _____ 分

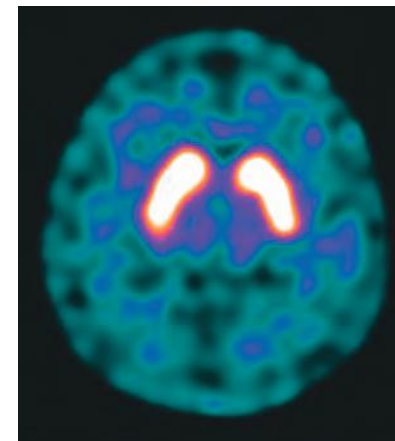
場 所:

わからないことや不安な点がありましたら、遠慮なく担当の医師、技師、看護師におたずねください。

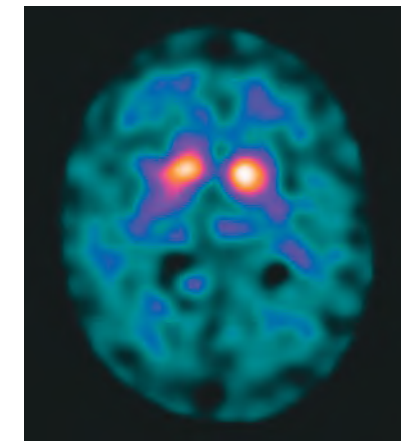
病院名

作成：日本メジフィジックス株式会社

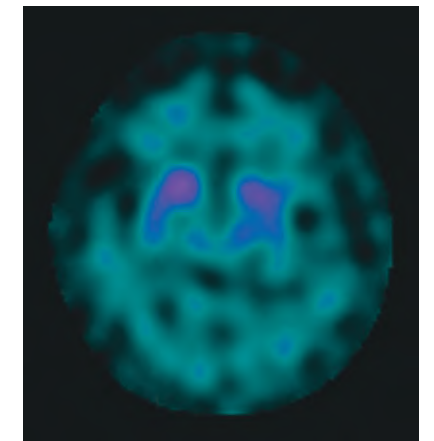
健常者



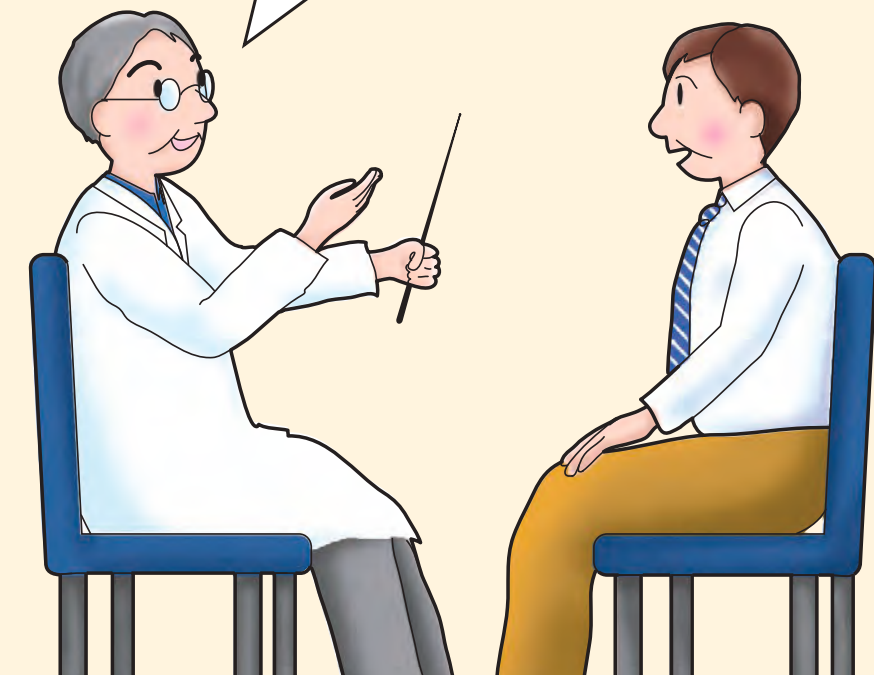
パーキンソン病



レビー小体型認知症



脳の機能を詳しく調べます。



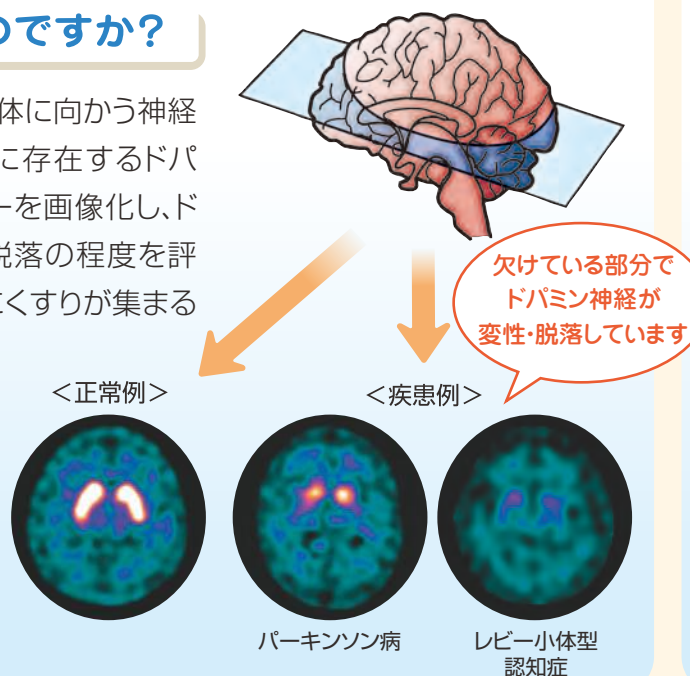
監修 日本脳神経核医学研究会



ドパミントランスポーターシンチグラフィとは

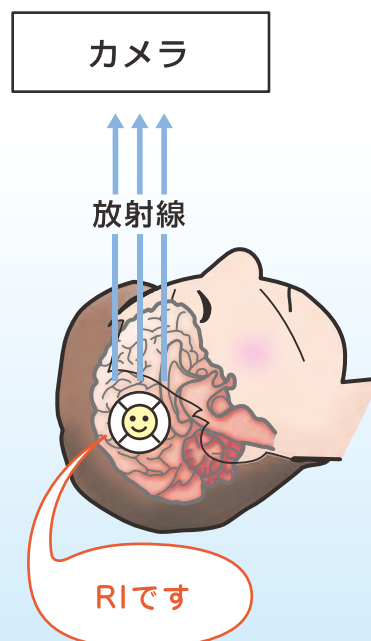
なにがわかるのですか？

脳内の黒質から線条体に向かう神経経路(ドパミン神経)に存在するドパミントランスポーターを画像化し、ドパミン神経の変性・脱落の程度を評価する検査です。脳にくすりが集まるまで3~6時間待ちます。それ以降、仰向けに寝て、カメラで頭を撮影します。



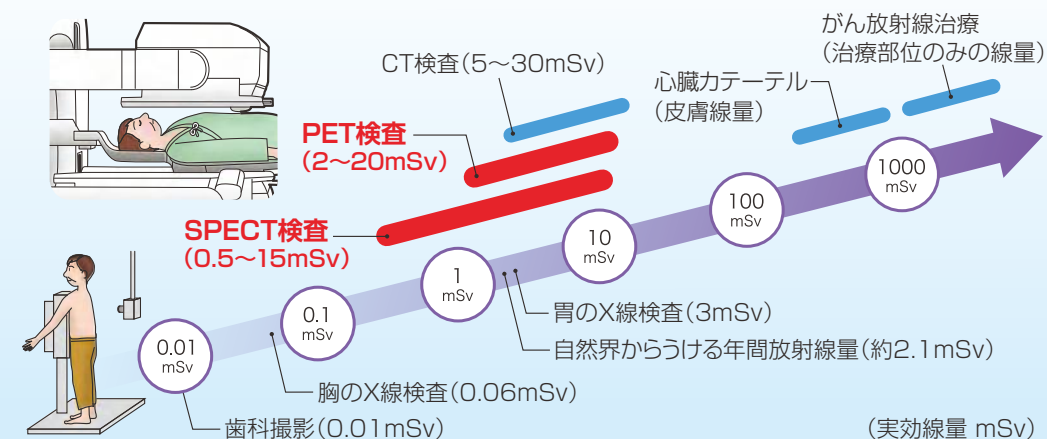
どうやって調べるのですか？

放射線を出すラジオアイソトープ(RI)で印をつけた脳に集まる性質のあるくすり(放射性医薬品)を注射し、それから出る放射線を特別なカメラで撮影します。ドパミン神経が変性・脱落している部位は取り込みが低く写ります。



放射線の影響について

核医学検査1回あたりの被ばく線量は0.5~20mSv程度で、X線検査やCT検査でうける被ばく線量と同程度と考えられます。検査の目的により投与する検査薬の量は異なりますが、投与量は微量なため、副作用はまれです。



【参考資料】 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
 ●量子医学・医療部門 CT検査など医療被ばくに関するQ&A : <https://www.qst.go.jp/site/qms/1889.html>
 ●放射線医学総合研究所 放射線被ばくの早見図Ver 180516 : <https://www.nirs.qst.go.jp/data/pdf/hayamizu/j/20180516.pdf>



検査の受け方

検査前

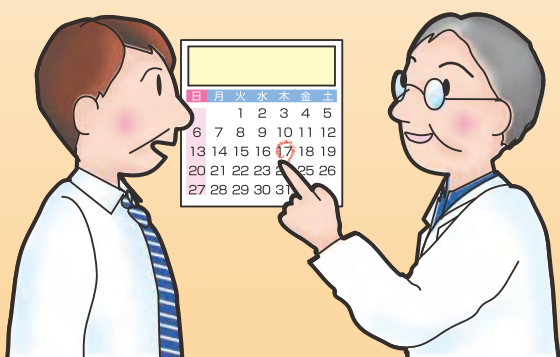
診察を受けます

症状に合わせて検査の計画を立てます。疑問や不安がありましたら、納得のいくまで確認しておきましょう。妊娠中や授乳中の方、アルコールに過敏な方、その他過敏症の既往歴のある方、何らかの治療薬を服用中の方はお申し出ください。

検査の予約をしてください

検査に使うくすりは検査日当日しか使えないため、検査予定に合わせて用意をします。直前のキャンセルは難しいため、確実に来られる日に予約してください。

注意事項、指示を確認しておきましょう

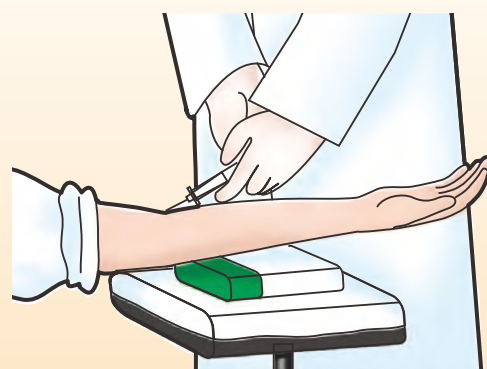


検査日まで

検査当日

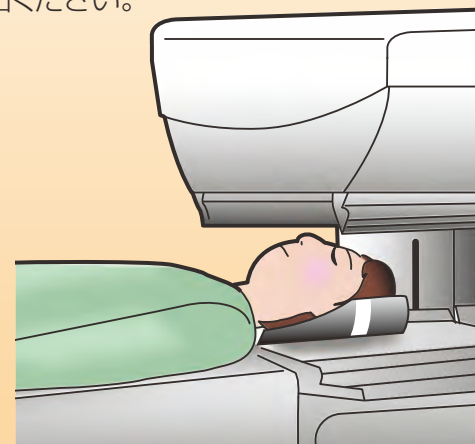
検査室で、くすりを注射します

検査に必要な放射性医薬品を静脈注射します。



検査をします

- 眼鏡や大きなピンなど頭部につけている金属製品をはずします。
- 装置のベッドに仰向けに寝ている間に検査します。頭の周りをカメラが回ったり、トンネルのようなカメラの中に頭を入れたりして撮影します。検査中は頭を動かさないでください。約30分で終わります。
- もし気分がわるくなったら我慢せずお申し出ください。



3~6時間待ちます

検査後

結果の説明を聞きます

当日、または後日担当医から説明があります。他の検査結果と合わせて診断を行います。

正しい診察でよい治療!



終了